

再処理工場のしゅん工時期の変更について

2014年10月30日
日本原燃株式会社

- これまでの計画：「2014年10月」しゅん工
新しい計画：「2016年3月」しゅん工
- 当初は、新規制基準適合に係る審査等に「約6ヶ月」、新規制基準を踏まえた対策工事・使用前検査等に「約4ヶ月」と想定。
これを現在の審査状況および原子力発電所の審査の動向等を踏まえ、
 - ・新規制基準適合に係る審査等に「約18ヶ月」
 - ・新規制基準を踏まえた対策工事・使用前検査等に「約9ヶ月」

➤ 新しい計画の内訳

○新規制基準適合に係る審査等の期間

- ・当初、原子力発電所の申請時に想定されていた期間と同程度としていたが、新規制基準の審査の状況や当社としての検討状況（申請書の記載の充実、重大事故の閉じ込め機能の考え方の整理）、さらには原子力発電所の審査の動向を踏まえ、「約18ヶ月」とした。

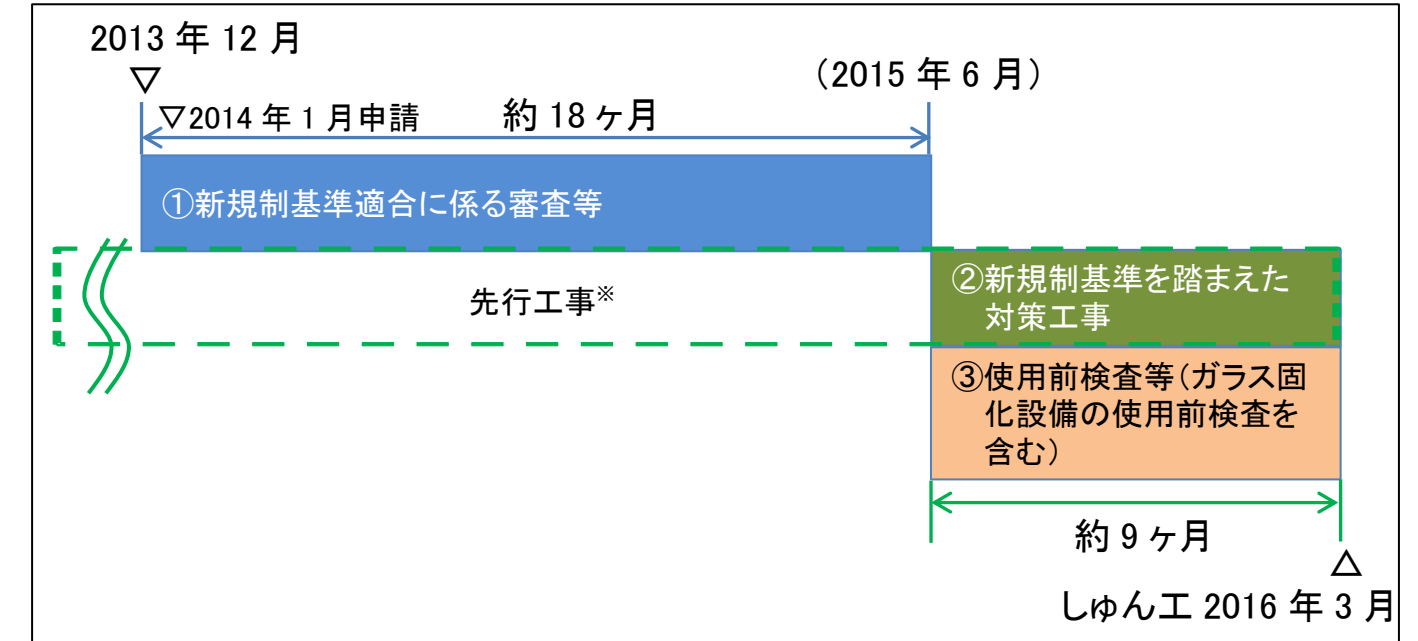
○新規制基準を踏まえた対策工事等の期間

- ・当初、先行して着手可能な工事や可搬式設備の配備等を進めていることを踏まえ、申請の認可を受けた後に実施する「可搬式設備と既設備との接続口を設置するための既設備の一部改造」等の工事期間を考慮していたが、審査により、新たに内部溢水対策等として以下の工事が必要となったことを踏まえ、「約9ヶ月」とした。
 - ・「緊急遮断弁の設置工事」
 - ・「耐震BCクラスの配管補強工事」等

➤ 今後の対応

順次、補正書を提出し、今後の審査について着実に対応することにより、一日も早い新規制基準対応としゅん工に向けて、全社をあげて取り組んでまいり所存。

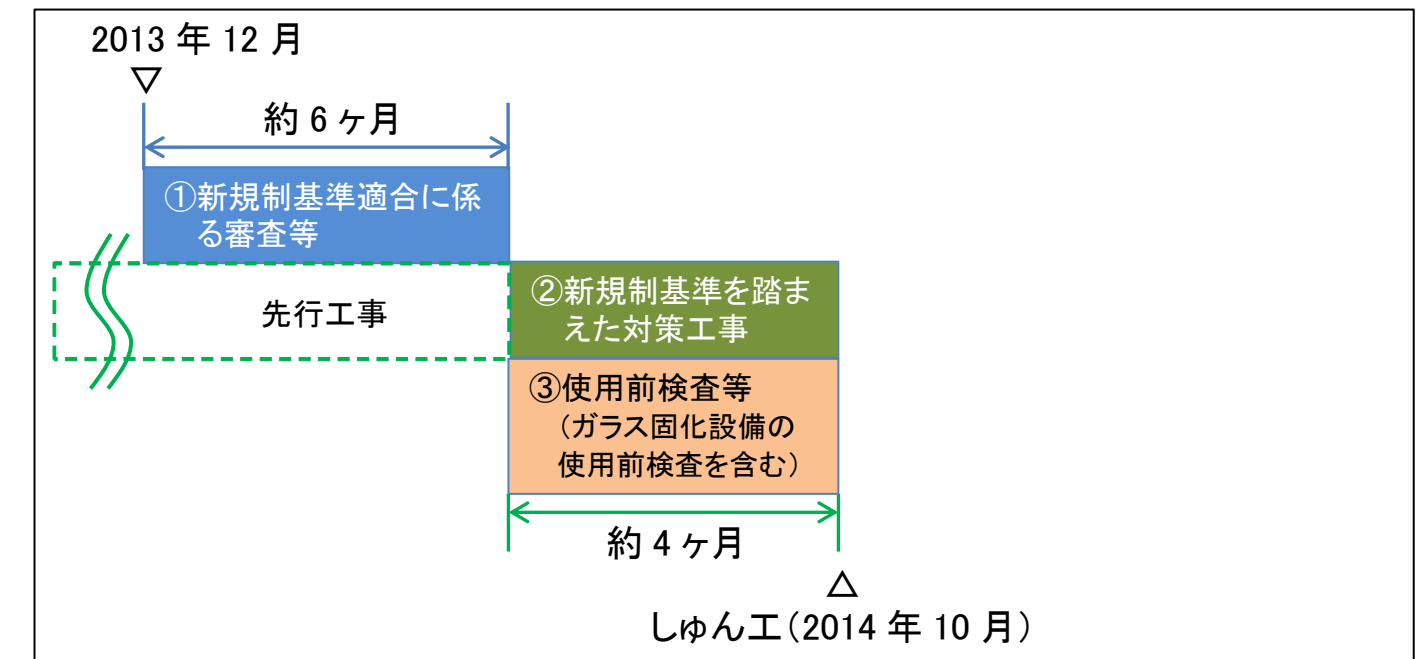
【新しい計画】



(補足)

- ① 新規制基準適合に係る審査等：事業変更許可、設工認。
- ② 新規制基準を踏まえた対策工事：可搬式設備と既設備との接続口を設置するための既設備の一部改造、内部溢水対策等工事*（堰・防水扉の設置、緊急遮断弁の設置、耐震BCクラス配管補強）、竜巻対策工事*、可搬設備（大型ポンプ、放水砲等）の配備*等。
※ 先行工事として着手済。
- ③ 使用前検査等：新規制基準の使用前検査、ガラス固化設備の使用前検査、アクティブ試験報告書の提出等。

【これまでの計画（2013年12月公表）】



以上